

授業科目 NO. 614 高齢者フレイル論

Frailty in the Elderly

授業の形態：講義

単位数（時間数）：1単位（15時間）

開講年次・学期：4年次・前後期

必修・選択の別：選択

キーワード：高齢者、フレイル予防、看護、多職種連携

1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学習目標

1) 一般目標（GIO）

健康寿命の延伸に向けて多職種と協働して根拠に基づいた看護を実践するために、フレイルの概念、疫学、要因、診断基準を理解する。また、フレイル予防、および早期発見と進行予防の方法を理解する。

2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) フレイルの概念、診断基準、疫学、対策事業の概要について説明できる。(②)
- (2) フレイルの要因について身体的、精神心理的、社会的側面から説明できる。(②)
- (3) 多職種連携によるフレイル予防について説明できる。(②)
- (4) 地域で自立した生活を送る高齢者との交流を通して、フレイル予防の看護について考察できる。(②)

3 学習内容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	50%
実習成績	%
レポート	50%
授業態度	%
小テスト	%
その他	%
合計	100%

(特記事項) 定期試験は第1回～第3回、第7.5回の講義内容について実施する。

5 教 育 担 当 者

科目責任者：平松 知子

教 授 平松 知子 (老年看護学)
 准 教 授 橋本 智江 (老年看護学)
 嘱 託 講 師 直井 千津子 (老年看護学)
 助 教 岩本 陽子 (老年看護学)

6 教育担当者の実務経験

担当教員は全員看護師としての実務経験を有している。

7 教 科 書

なし

8 推 薦 参 考 書

- 1) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 (医学書院)
 - 2) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 (医学書院)
- その他授業中に適宜紹介する。

9 準備学修に必要な時間又は具体的な学修内容

授業1コマにつき、事前学習・事後学習として計180分程度必要である。教科書の該当箇所を読み、講義内容の理解を深めることが必要である。

- 1) これまでの授業で学んだフレイルに関する内容について復習しておくこと。
- 2) ガイダンス時に配布する資料を基に、各授業内容および注意事項を確認しておくこと。
- 3) 授業中に指定した場合、授業後にレポートを提出すること。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- 1) 提出された課題については、講義の中で取り上げ解説を行う。

11 履修上の注意事項

積極的に授業に参加してください。

12 オフィスアワー等

随時訪問可能。但し、事前に教員の都合を確認してください。

連絡先

平松 知子 : hiramatu@kanazawa-med.ac.jp

橋本 智江 : hashimo@kanazawa-med.ac.jp

直井 千津子 : c-naoi@kanazawa-med.ac.jp

岩本 陽子 : otoitu@kanazawa-med.ac.jp

第4学年

高齢者フレイル論

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	10月30日(水)	4	講義	フレイルの概念と特徴 フレイルの原因、診断、治療・リハビリテーション		老年看護学	平松教授
後	2	11月06日(水)	3	講義	フレイル予防		老年看護学	平松教授
後	3	11月06日(水)	4	演習	フレイル予防におけるアセスメント項目と方法		老年看護学	平松教授
後	4	11月13日(水)	3	演習	地域高齢者の日常生活状況・健康状態		老年看護学	平松教授,橋本准教授,直井講師,岩本助教
後	5	11月13日(水)	4	演習	地域高齢者の日常生活状況・健康状態	レポート課題	老年看護学	平松教授,橋本准教授,直井講師,岩本助教
後	6	11月20日(水)	3	演習	地域高齢者のフレイル予防	レポート課題 グループワーク	老年看護学	平松教授
後	7	11月27日(水)	3	演習	地域高齢者のフレイル予防	プレゼンテーション レポート課題	老年看護学	平松教授
後	8(7.5)	11月27日(水)	4	講義	フレイル予防における多職種連携と看護の役割		老年看護学	平松教授